

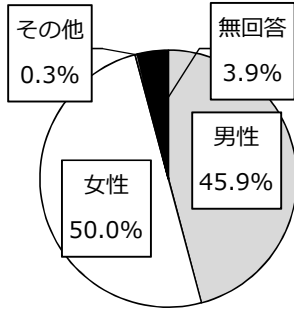
第2回市民意識調査の結果について（概要）

1 調査の概要

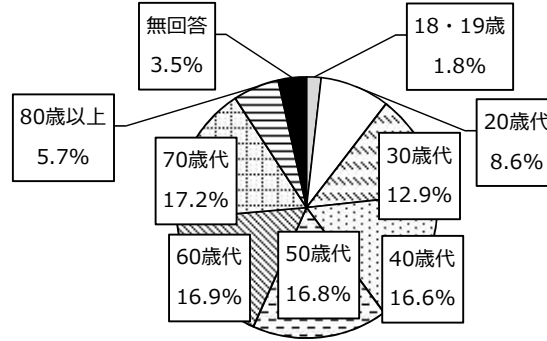
- ・ 期 間：令和元年9月24日～10月15日（前は平成28年度に実施）
- ・ 対 象：市内在住3か月以上で満18歳以上の6,500人
- ・ 調査方法：郵送による調査票の配布・回収
- ・ 回収結果：有効回答数4,069人、有効回答率62.8%

2 回答者の属性（n=3,639※）

図表1 男女の割合



図表2 各年代の割合



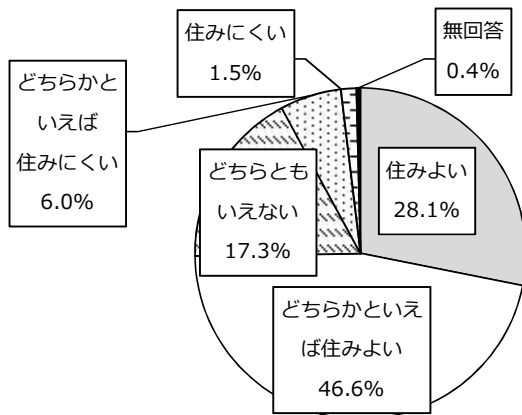
※各地区の分析を行う際の統計的な精度を高めるため、地区別の抽出数が150人に満たなかった10地区については、地区別の人口構成比に基づいた住民基本台帳からの無作為抽出に加え、抽出数が各地区150人になるように追加しています。これにより、当該10地区については補正係数を用いて回答の重みを調整しているため、全体集計数は3,639となります。

3 住みよさ満足度・・・「住みよい」+「どちらかといえば住みよい」の回答割合

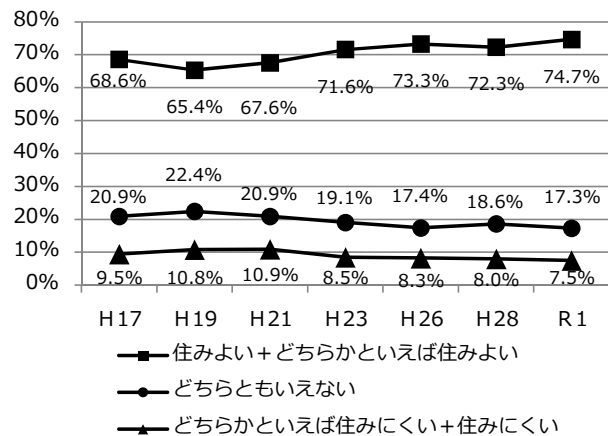
(1) 全体の集計

- ・ 74.7%で、前回調査より2.4ポイント増加し過去最高値となった。
- ・ 年代別では18・19歳、30歳代、70歳以上が高い。30歳代及び70歳代は徐々に増加している。

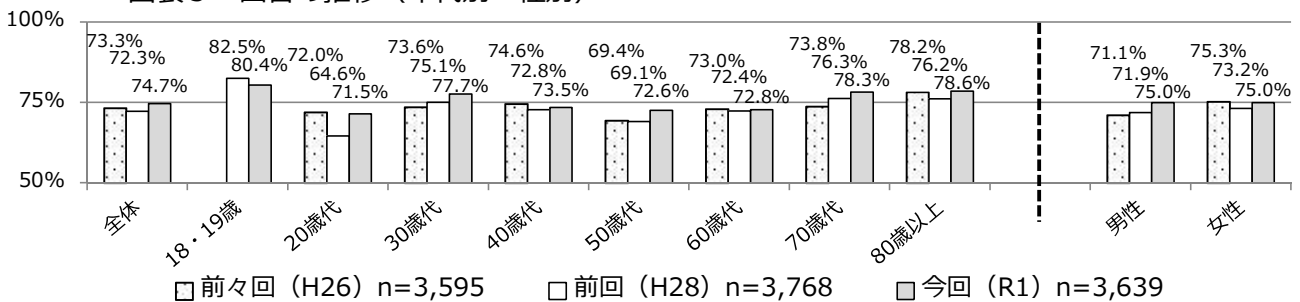
図表3 回答の割合



図表4 回答の推移



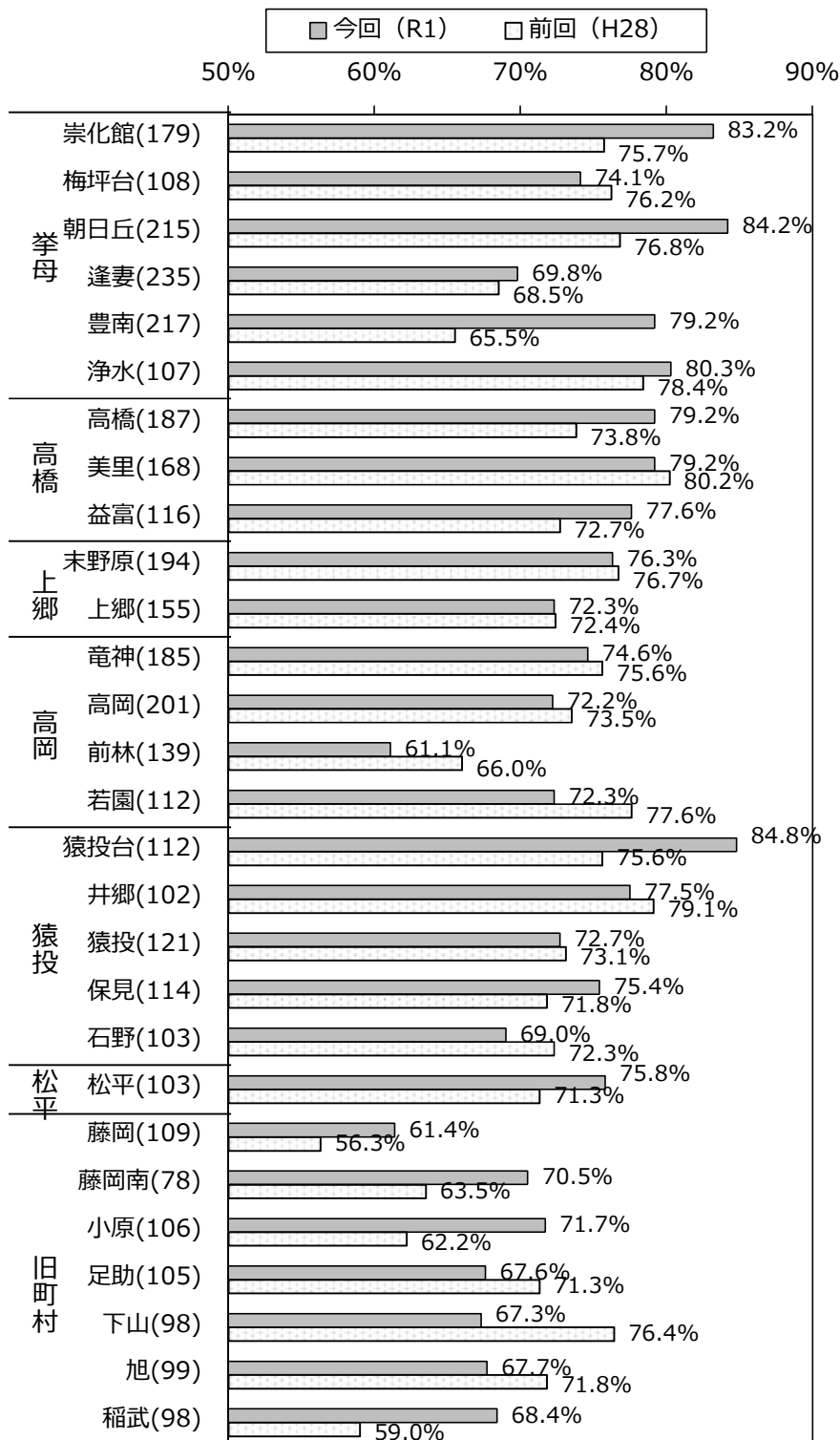
図表5 回答の推移（年代別・性別）



(2) 地区別(中学校区別)の集計

- ・ 住みよさ満足度の高い地区：①猿投台(84.8%) ②朝日丘(84.2%) ③崇化館(83.2%)
- 低い地区：①前林(61.1%) ②藤岡(61.4%) ③下山(67.3%)
- ・ 前回調査から増加した地区：①豊南(+13.7%) ②小原(+9.5%) ③稲武(+9.4%)
- 減少した地区：①下山(-9.1%) ②若園(-5.3%) ③前林(-4.9%)

図表6 回答の割合(地区別)



図表7 増減一覧
(今回-前回)

地区	増減 (ポイント)
豊南(217)	13.7
小原(106)	9.5
稲武(98)	9.4
猿投台(112)	9.2
崇化館(179)	7.5
朝日丘(215)	7.4
藤岡南(78)	7
高橋(187)	5.4
藤岡(109)	5.1
益富(116)	4.9
松平(103)	4.5
保見(114)	3.6
浄水(107)	1.9
逢妻(235)	1.3
上郷(155)	-0.1
猿投(121)	-0.4
末野原(194)	-0.4
美里(168)	-1
竜神(185)	-1
高岡(201)	-1.3
井郷(102)	-1.6
梅坪台(108)	-2.1
石野(103)	-3.3
足助(105)	-3.7
旭(99)	-4.1
前林(139)	-4.9
若園(112)	-5.3
下山(98)	-9.1

※地区名の()内は回答数

4 施策の評価・・・満足度：40施策を7段階で評価（4が中間値）した平均値

期待度：40施策の中から「力を入れてほしい施策」を選択した割合（最大3施策）

- ・全施策の満足度の平均値（4.26）
- ・満足度の高い主な施策：①企業活動が盛んである（5.31）
②必要な医療が受けられる（4.96）、安心して食生活を送ることができる（4.96）
- ・期待度の高い主な施策：①利用しやすい公共交通が整っている（31.7%）
②歩行者や自転車利用者にとって安全で快適な道路が整っている（20.8%）
③高齢者が安心して暮らすことができる（17.7%）
- ・満足度が低く、期待度が高い主な施策（期待度の順位－満足度の順位の差が大きい施策）
 - ①利用しやすい公共交通整っている（満足度：39位、期待度：1位）
 - ②歩行者や自転車利用者にとって安全で快適な道路が整っている（満足度：38位、期待度：2位）
 - ③交通安全対策が充実している（満足度：35位、期待度：5位）

図表8 施策の満足度、期待度一覧（満足度と期待度の順位差順）

番号	施策	満足度		期待度		順位差 (満足度－期待度)
		満足度	順位	(%)	順位	
1	利用しやすい公共交通が整っているまち	3.25	39	31.7	1	38
2	歩行者や自転車利用者にとって安全で快適な道路が整っているまち	3.32	38	20.8	2	36
3	交通安全対策が充実しているまち	3.82	35	11.2	5	30
4	観光客が訪れるまち	3.10	40	5.8	13	27
5	商業地に魅力とにぎわいのあるまち	3.83	34	8.6	8	26
6	地球温暖化対策に取り組むまち	3.59	37	5.3	14	23
7	高齢者が安心して暮らすことのできるまち	4.14	25	17.7	3	22
8	犯罪に対して安全で安心なまち	4.19	24	13.0	4	20
9	交通や観光等の移動に必要な情報が得やすいまち	3.62	36	4.2	17	19
10	高齢になっても活躍できる環境が整っているまち	4.12	28	7.7	11	17
11	障がい者が地域で安心して自分らしく生活できるまち	3.98	33	4.1	18	15
12	美しいまちなみや風景のあるまち	4.13	27	4.1	18	9
13	女性が活躍できる環境が整っているまち	3.99	30	3.2	21	9
14	資源をむだにしない循環型社会の実現に取り組むまち	3.99	30	2.6	23	7
15	地震や風水害に対して安心なまち	4.51	13	8.8	7	6
16	公共施設（建物、道路、公園、上下水道など）が適切に維持・管理されているまち	4.51	14	8.5	9	5
17	国際交流が活発で、日本人も外国人もともに暮らしやすいまち	3.99	30	2.4	26	4
18	生活や産業を支える道路が整っているまち	4.44	17	4.5	15	2
19	快適な住環境が整備されているまち	4.22	21	3.5	20	1
20	出産、子育てがしやすいまち	4.87	5	10.5	6	-1
21	森林が健全に保全されているまち	4.23	19	2.6	23	-4
22	多様なニーズに応じた住宅や宅地が供給されるまち	4.14	25	1.6	30	-5
23	学校教育が充実したまち	4.67	6	6.5	12	-6
24	公園や緑地が身近にあるまち	4.56	9	4.3	16	-7
25	必要な医療が受けられるまち	4.96	2	8.1	10	-8
26	市民と行政が役割分担をしながらまちづくりを進めているまち	4.09	29	0.9	37	-8
27	健康づくりに取り組みやすいまち	4.38	18	2.2	27	-9
28	趣味や生きがいとして農業に取り組むやすいまち	4.23	19	1.5	31	-12
29	市民による地域づくりや市民活動が盛んなまち	4.20	23	0.9	37	-14
30	地域で青少年が活動しているまち	4.22	21	1.1	36	-15
31	芸術や文化に親しむことができるまち	4.53	12	1.8	29	-17
32	消防・救急体制が充実しているまち	4.95	4	2.6	23	-19
33	安心して食生活を送ることができるまち	4.96	2	2.9	22	-20
34	スポーツに取り組むやすいまち	4.66	7	2.0	28	-21
35	汚水の適正な処理による衛生的な生活環境が実現されているまち	4.55	10	1.4	32	-22
36	農産物の地産地消に取り組んでいるまち	4.54	11	1.2	34	-23
37	市民や企業が環境に配慮しているまち	4.45	16	0.7	39	-23
38	郷土の歴史や伝統文化が継承されているまち	4.49	15	0.6	40	-25
39	良好な水辺環境などの水資源があるまち	4.64	8	1.2	34	-26
40	企業活動が盛んなまち	5.31	1	1.3	33	-32

5 第8次総合計画の主な成果指標の動向

- ・ 23指標のうち、前回調査から数値が上がった指標：13指標（1.0ポイント以上の増加）
 数値が下がった指標：4指標（1.0ポイント以上の減少）
 数値が横ばいの指標：6指標（1.0ポイント未満の増減）
- ・ 前回調査から数値が上がった主な指標
 - ①近所で児童虐待を受けていると思われる子どもを見つけたとき、
 市役所、児童相談所、警察等に連絡できる市民の割合（+8.7㊦）
 - ②地域の活動やNPO・ボランティア活動などに参加している市民の割合（+7.7㊦）
 - ③「学校教育が充実したまち」として満足している市民の割合 ①小・中学生がいる世帯（+7.5㊦）
- ・ 前回調査から数値が下がった主な指標
 - ①「良好な水辺環境などの水資源があるまち」として満足している市民の割合（-5.3㊦）
 - ②日ごろから健康づくりのため、適度に運動している又は
 栄養バランスのとれた食事をしている市民の割合（-4.4㊦）
 - ③今住んでいるところに長く住みたいと思う市民の割合（-3.0㊦）

図表9 第8次総合計画の主な成果指標の動向一覧

※1.0ポイント未満の増減（横ばい）は「→」で表示

まちの状態指標		今回 (R1)	前回 (H28)	増減	
重点 施策	(1) 超高齢社会への適応				
	1 日ごろから健康づくりのため、適度に運動している又は栄養バランスのとれた食事をしている市民の割合	56.6%	61.0%	-4.4	↓
	2 地域の活動やNPO・ボランティア活動などに参加している市民の割合	59.5%	51.8%	7.7	↑
	3 65歳以上の市民のうち、地域の活動やNPO・ボランティア活動に参加している割合	68.0%	60.6%	7.4	↑
	(3) 暮らしてよし・訪れてよしの魅力創出				
4 今住んでいるところに長く住みたいと思う市民の割合	67.9%	70.9%	-3.0	↓	
5 豊田市や住んでいる地域に対して愛着を感じている市民の割合	77.0%	76.7%	0.3	-	
基本 施策	I 子ども・子育て				
	6 子育て世帯のうち、「出産、子育てがしやすいまち」として満足している割合	72.6%	66.5%	6.1	↑
	7 近所で児童虐待を受けていると思われる子どもを見つけたとき、市役所、児童相談所、警察等に連絡できる市民の割合	69.8%	61.1%	8.7	↑
	II 生涯学習				
	8 「学校教育が充実したまち」として満足している市民の割合①小・中学生がいる世帯	60.1%	52.6%	7.5	↑
	9 「学校教育が充実したまち」として満足している市民の割合②小・中学生がいない世帯	51.5%	49.6%	1.9	↑
	10 1年以内に、小・中学校の活動又は児童生徒とともにを行う地域の活動に参加した市民の割合	28.6%	28.6%	0.0	-
	11 65歳以上の市民のうち、日ごろの生活の中で生きがいを感じている割合	75.9%	76.7%	-0.8	-
	12 60歳以上の市民のうち、就業している割合	35.4%	32.9%	2.5	↑
	13 「女性が活躍できる環境が整っているまち」として満足している市民の割合	30.6%	29.0%	1.6	↑
	14 郷土の歴史・文化に誇りや愛着を持っている市民の割合	44.2%	44.2%	0.0	-
	III 健康・福祉				
	15 かかりつけ医を決めている市民の割合	71.3%	68.8%	2.5	↑
	IV 安心・安全				
	16 災害に対する5つの備えをしている市民の割合	9.7%	7.6%	2.1	↑
	17 高齢者がいる世帯のうち、住宅用火災報知器を設置している割合	74.8%	71.8%	3.0	↑
	V 産業・観光・交流				
	18 とよたの農産物を購入するように心がけている市民の割合	55.8%	58.4%	-2.6	↓
	19 「商業地に魅力とにぎわいのあるまち」として満足している市民の割合	31.6%	27.6%	4.0	↑
	VI 環境				
	20 「良好な水辺環境などの水資源があるまち」として満足している市民の割合	55.4%	60.7%	-5.3	↓
	VII 都市整備				
	21 「快適な住環境が整備されているまち」として満足している市民の割合	41.9%	41.6%	0.3	-
22 「公園や緑地が身近にあるまち」として満足している市民の割合	56.8%	55.3%	1.5	↑	
VIII 地域経営					
23 1年以内に国際交流に関する活動や事業に参加したことのある市民の割合	2.9%	2.4%	0.5	-	